

学びをあきらめない
社会を目指して

-ビジネスと NPO の連携で生まれる
社会課題解決の取り組み-

※ 本資料の2次利用はお控えください。



NPO法人eboard 代表理事 中村孝一

- 2005 大学入学
学習塾や学習支援ボランティアに従事
教育現場で課題を痛感
- 2009 卒業後、アクセンチュアに就職
- 2010 アクセンチュアを退職
- 2011 任意団体としてeboardの活動をスタート
- 2013 団体をNPO法人化
- 2016 世界経済フォーラム Global Shapers に選出

NPO法人eboard 沿革・受賞歴

2011 任意団体としてeboardの活動をスタート

2013 公立学校で初めての導入
団体をNPO法人化

2014 日本e-Learning大賞にて、文部科学大臣賞を受賞

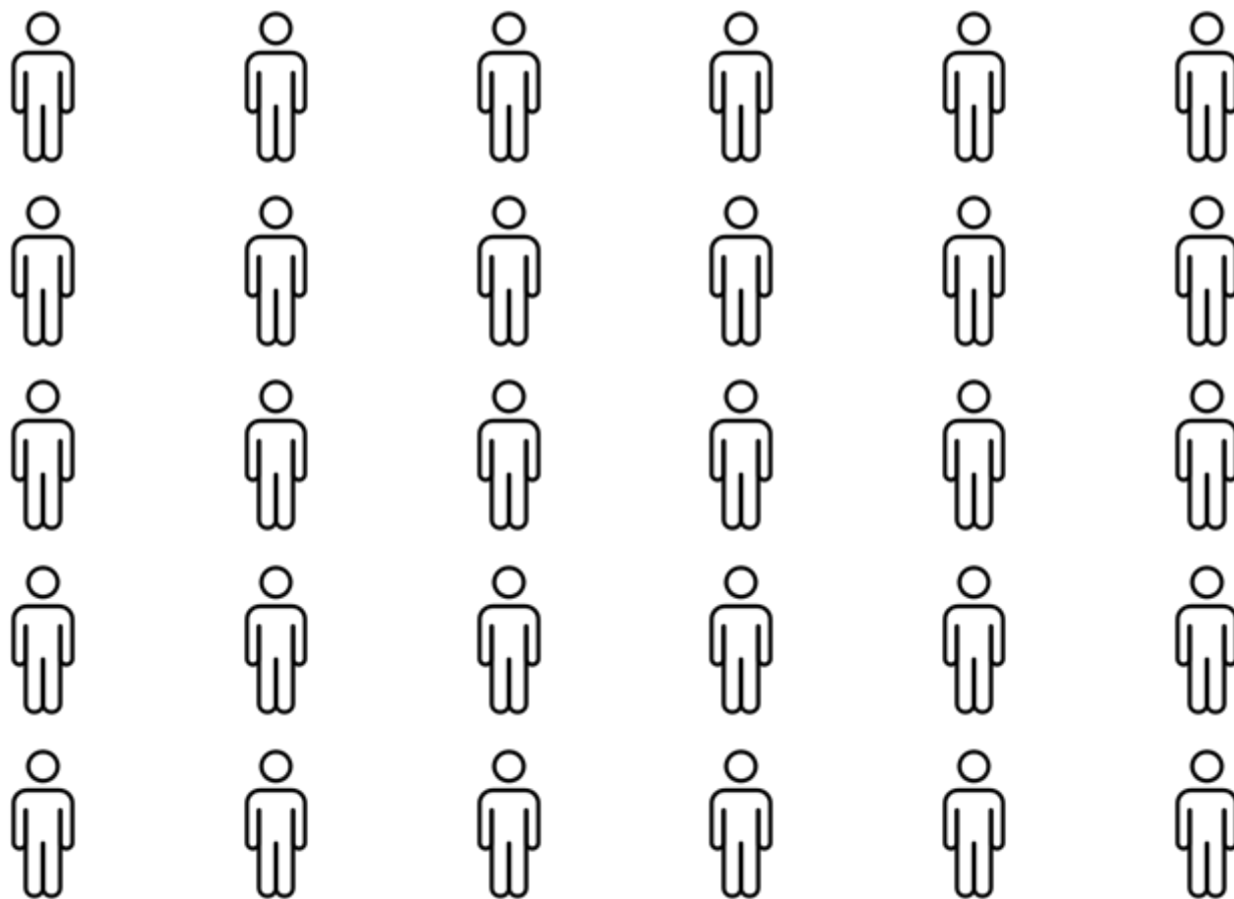
2015 総務省「先導的教育システム実証事業」に参画

2020 経済産業省「未来の教室実証事業」内の利用教材として採択

2021 第5回 ジャパンSDGsアワードにおいて、SDGs推進副本部長（内閣官房長官）賞を受賞

2023 ICCサミット KYOTO 2023 ソーシャルグッド・カタパルト 3位入賞

2024 公益財団法人社会貢献支援財団・第61回社会貢献者表彰を受賞



中学3年生 30人学級



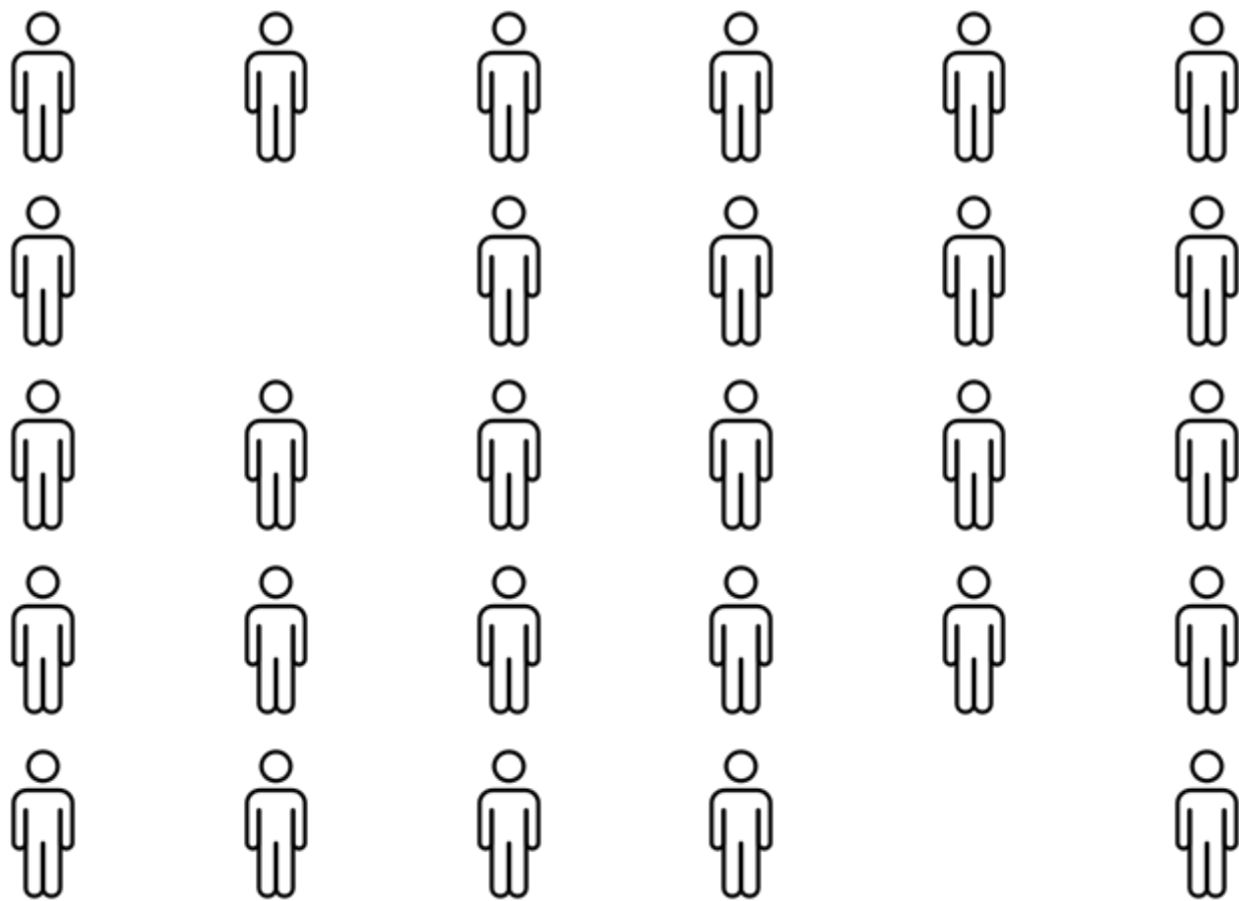
25人が塾に通っています



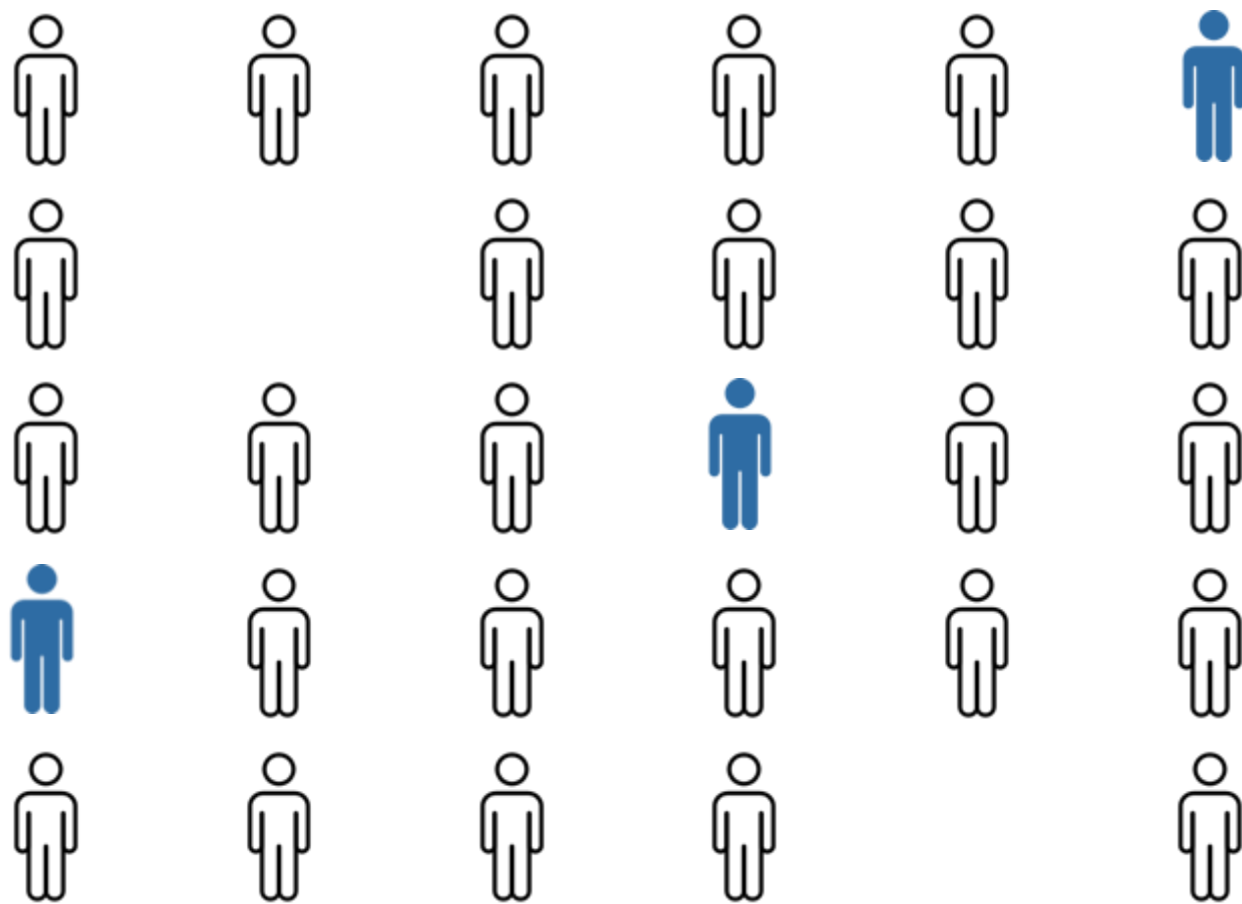
5人は お金がないので通えませんが

現在、生活保護を受けています。

通信教育で何かよい物をとりましたが、料金的に厳しいのとほとんどがクレジットカード必須なので、受講できない状況です。



2人は 学校に来ていません



3人は「学校がつらい」と感じています

中学1年生の秋から学校に通えなくなりました。

最初は過敏性腸症候群を発症し、その治療の過程で先生からの暴言があったことがわかりました。当時も今もそのことについては本人は全く話せず、学校に関わる事柄には部屋にこもったり、怒ったり泣いたりと情緒的に反応します。学校の先生とのトラブルでしたので大人の人と関わる塾なども難しい状況です。



3人は 学習や行動面の困難があります

4年生の頃より「頭の中で文章はおもいつくんだけど、上手くまとめられず文章となると字がかけない。学校の騒音が嫌だ。コミュニケーションのとり方がわからない」と言い出し、カウンセリングを受けていました。6年生になり4月欠席が増え、4月末より不登校になりました。

6校に1校がなくなりました

お金がないから、

学校に行けないから、

ここは田舎だから、

他の子と同じように学べないから



学びをあきらめない社会

いつでも、
どこでも、
自由に学べる



家庭、公立学校
非営利活動
すべて無料



2025年現在、 月30万人が学ぶ

年間利用者数
190万人



塾に行けていれば先生とかに聞いてもっと楽しいんだらうなとか、また少し自己嫌悪になりそうだったんですけど「eボードさんがね、理科もやってくれてね、私がずっと分からなかったことが、一番分かりやすく教えてくれた！」とそして、カントリーマアムも食べて喜んでいました。

発達障害のある息子にeboardを使わせて、3か月近くになります。これまで通知表は1と2ばかりでしたが、本当は勉強したかったみたいです。勉強がしたくない子なんていないということを息子に教えられました。勉強でもスポーツでも、何かができるようになっていく感覚は心の内側から充実を感じる素晴らしい体験なんだと思います。

小学生の息子がいじめを受けたことをきっかけに学校へいけなくなり、そこから色々な学校があること、学びのスタイルがあることを知りました。家庭学習もそのひとつ。学校を休んで元気が出てきた頃、さて勉強をどうしようか、何かいい教材はないかと探していた時、eboardに出会い、なんて素晴らしい教材だろうと、本当に感激しました。子ども心をくすぐり、子どもの心に寄り添い、優しい声色で分かりやすく教えてくれるeboard先生。。路頭に迷っていた私たち親子は、どんなに救われたことでしょう。自宅で、自分で、自分のペースで学んでいいんだ。そう肯定してくれたようで、勇気と安心をもらいました。

その後我が子は学校へ通うようになり、将来の夢に向かって勉強も頑張りたい、と卒業文集で書いておりました。また学校へ行けなくなったり、勉強でつまづいても、eboard先生があるから大丈夫、と子どもも思っていると思います。本当にありがとうございます。

全ての迷える子どもとその親たちへ届きますように。今後も応援しております。

先週届いた声

なぜ、無料なのか？



理由① 貧困家庭に届ける

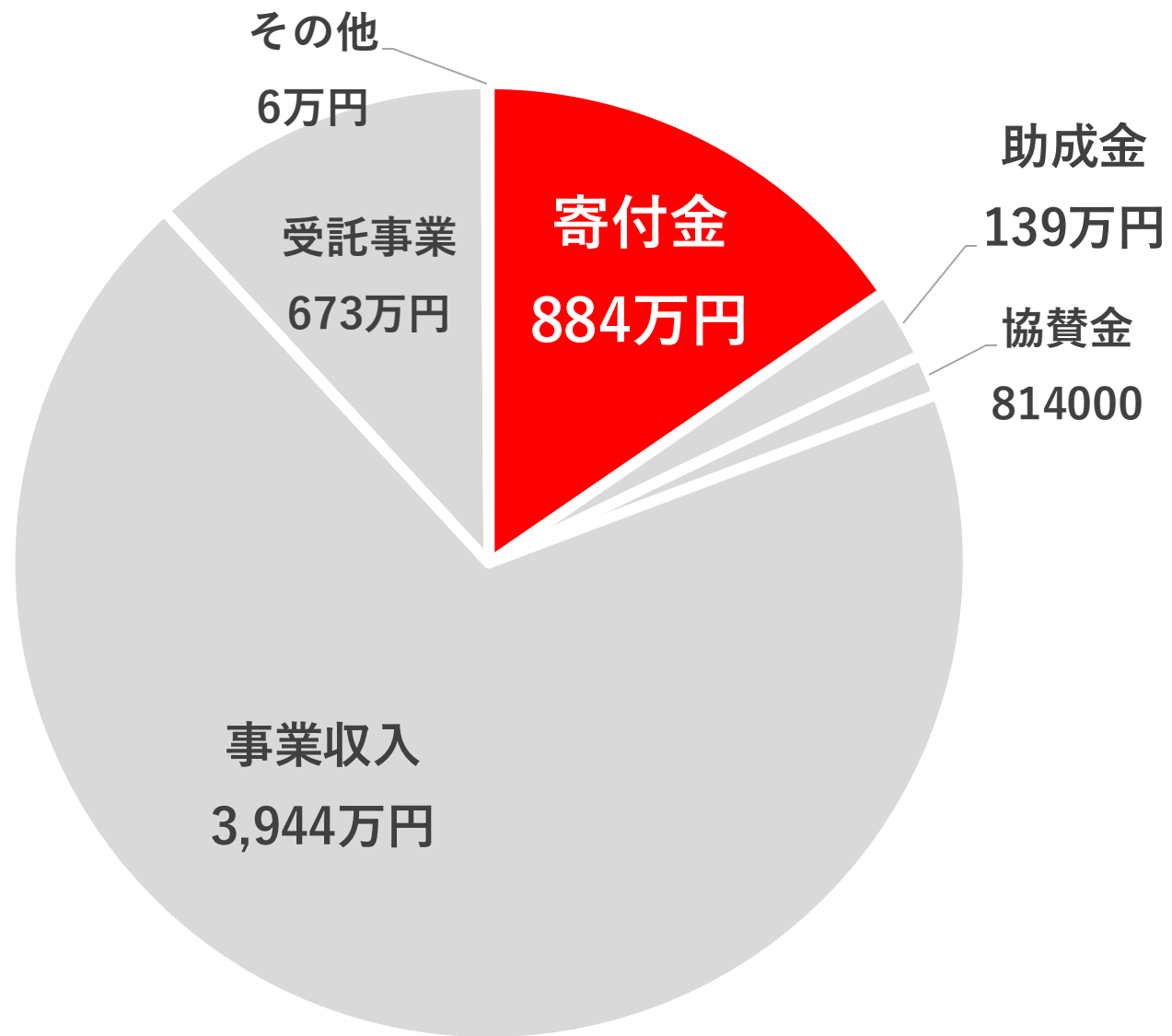


理由② 明日、現場に届ける



理由③ 少数派に届ける

なぜ、無料なのか？②



寄付は15%

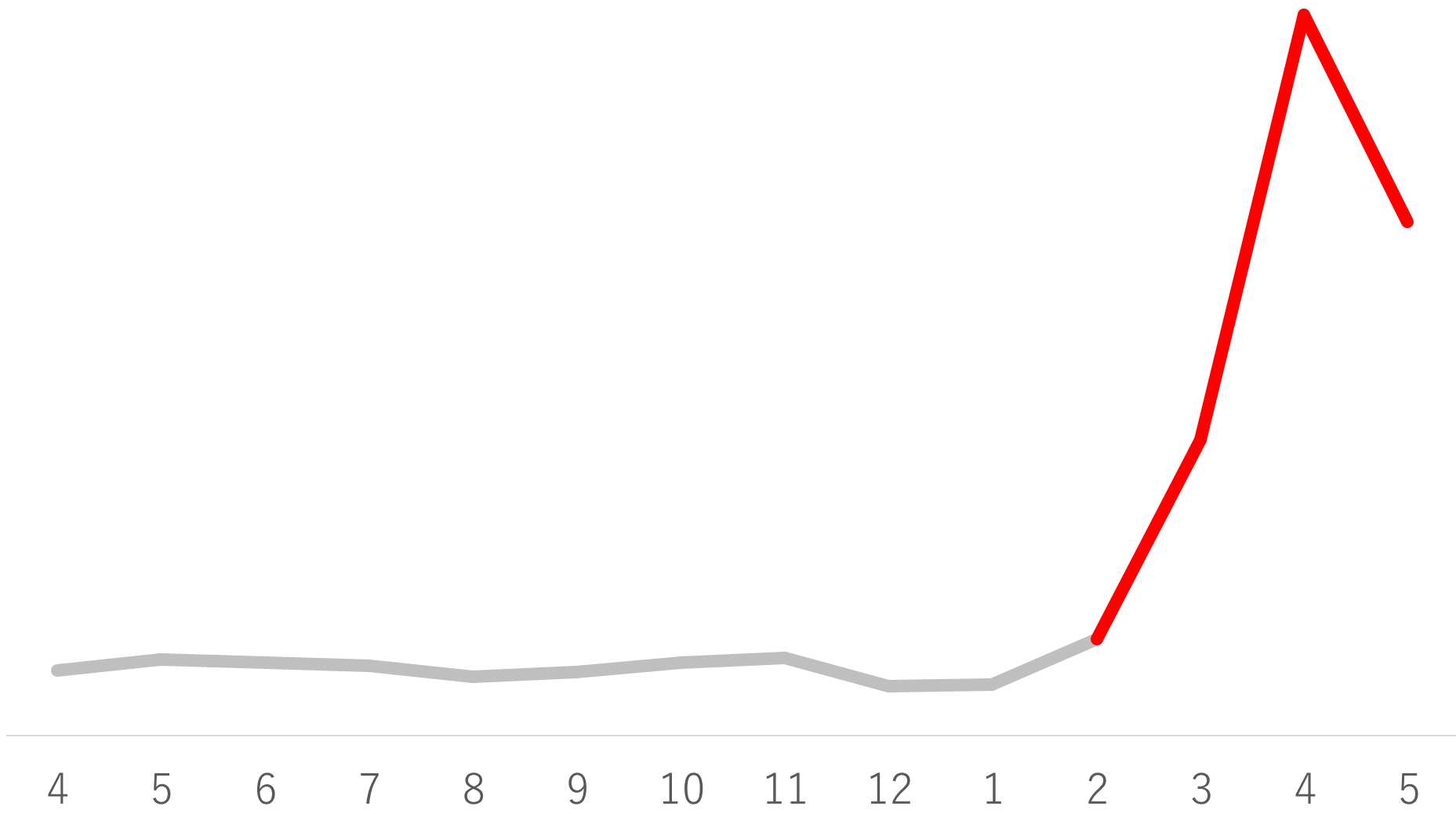
学習塾などの
営利活動は
有償（激安）





学びをあきらめない社会

今日はそのお願いに
やってきました！



きっかけは...

休校中 100万人が利用

昨対比 +1005.7%



コロナ禍

2020年4月28日 ろう学校の先生から

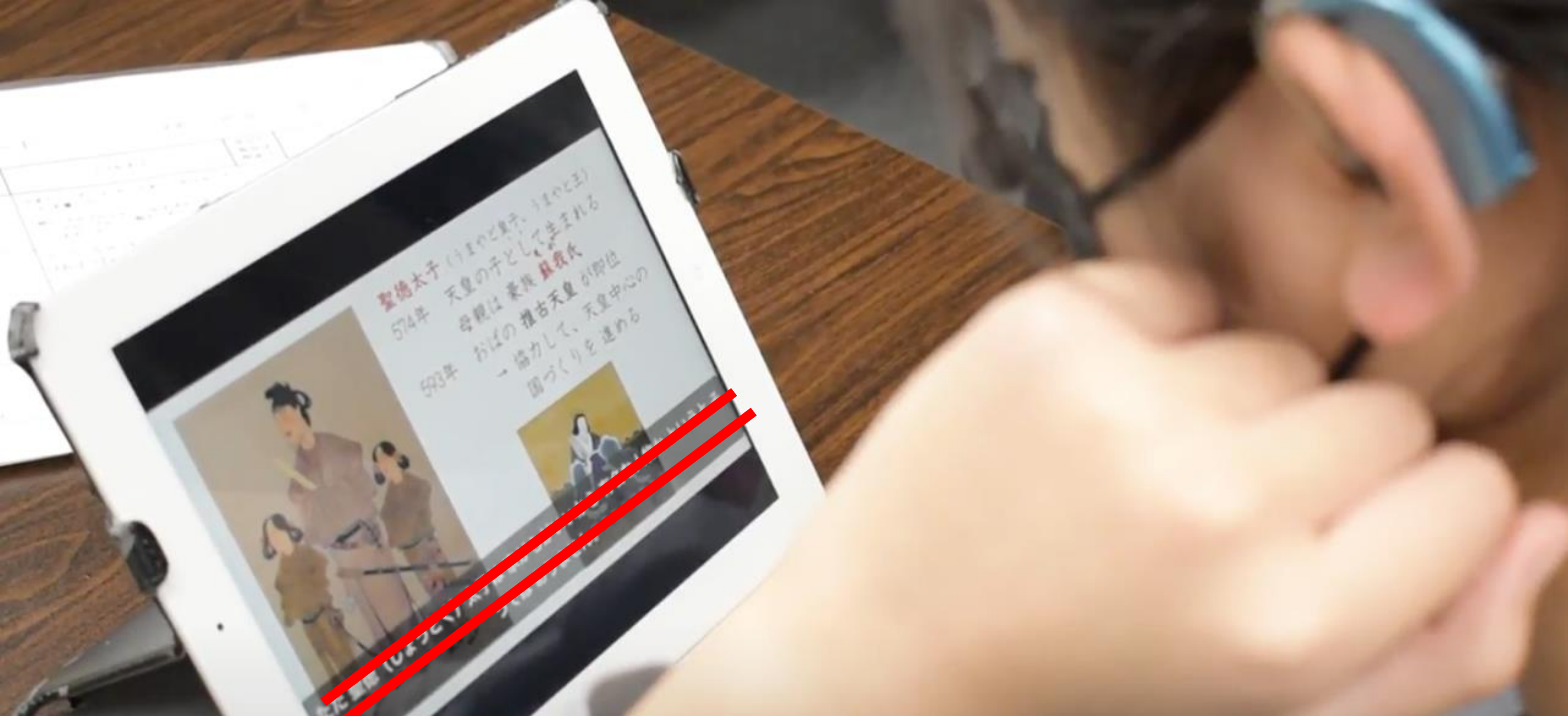
本校は、聴覚障害のある児童が120名ほど通う学校です。

動画やアニメーションで「字幕」がつくと、さらに子供たちは活用できます。

他のろう学校でも使い始めています。一気に字幕をとば申しませんが、

可能な限り、字幕表示をお願いできないでしょうか。

各学校の対応で大変なところかと思いますが、御検討をお願いします。



この国の映像授業には字幕がついていない



ろう学校に在籍する子 約8,000人

「この字幕だと、ちょっと使えないですね」

(手話で)



eboardへの寄付・ボランティアで実現した取り組み例①

やさしい字幕プロジェクト



20社 1100名以上のボランティアが集結



日本で唯一 字幕がついた映像教材



学習困難を抱えた子
通常学級の約6%



外国につながる子
6.9万人



ろう・難聴の子
2~4万人

インダス文明

紀元前2500年ごろ、都市国家が栄える。

モヘンジョ=ダロ、ハラッパが有名。

- ・ 河川： **インダス** 川
- ・ 文字：インダス文字



実はインダス文字は 四大文明の文字の中で1つだけ 解読されていない文字です。

学校にいない。

授業にいない。

350000
300000
250000
200000
150000
100000
50000
0

10年で3倍

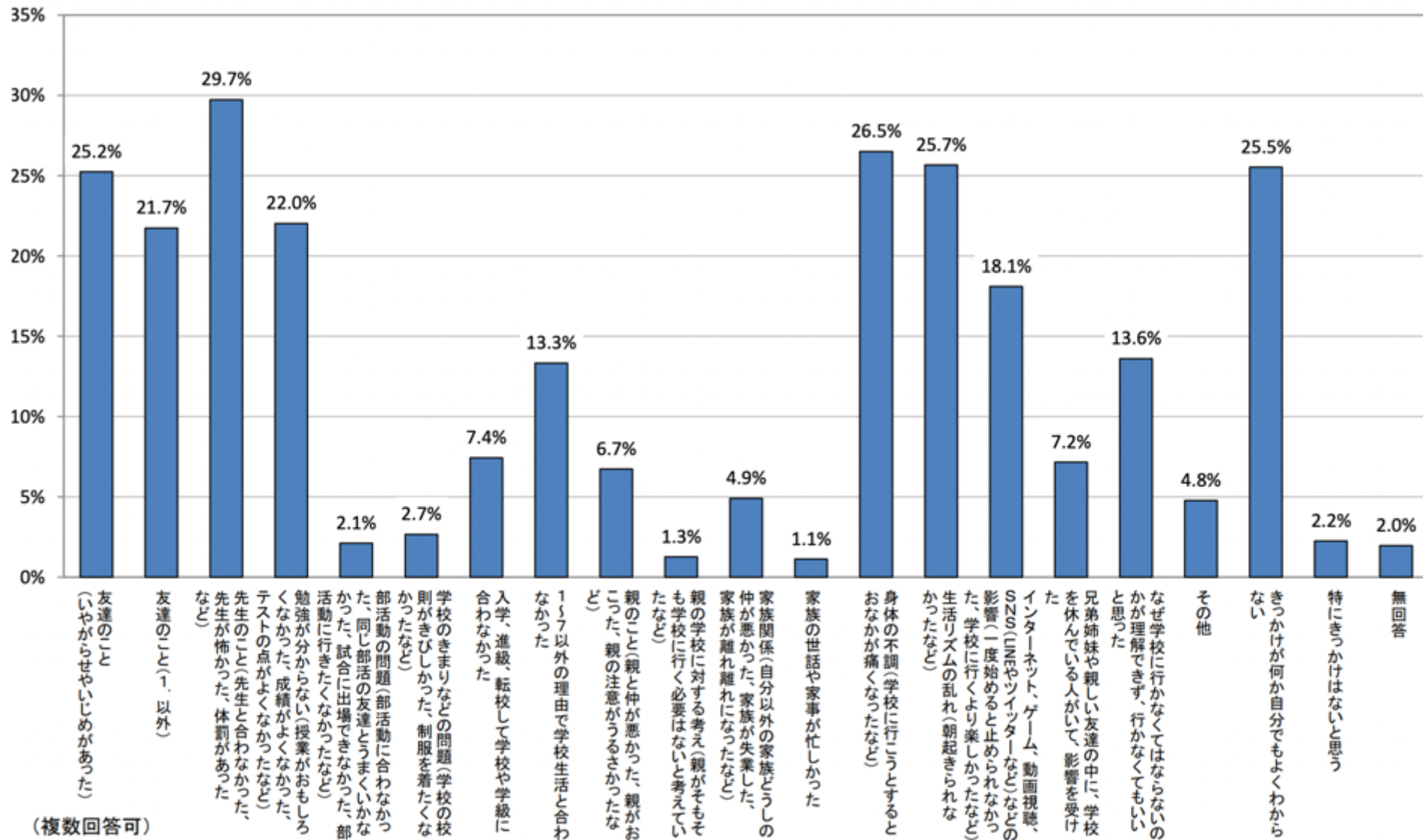
0





不登校 34万人

最初に学校に行きづらいつ感じ始めたきっかけ（小学生）



現在中学2年生ですが、1年生の秋から学校に通えなくなりました。最初は過敏性腸症候群を発症し、その治療の過程で先生からの暴言があったことがわかりました。学校の先生とのトラブルでしたので、大人の人と関わる塾なども難しい状況です。

「先生のこと」

長期間、同じクラスの子から、いじめ（嫌がらせや脅し、暴力）を受け、小3の3学期から、不登校状態になりました。

小4の7月に医療機関を受診しPTSDの診断を受けています。

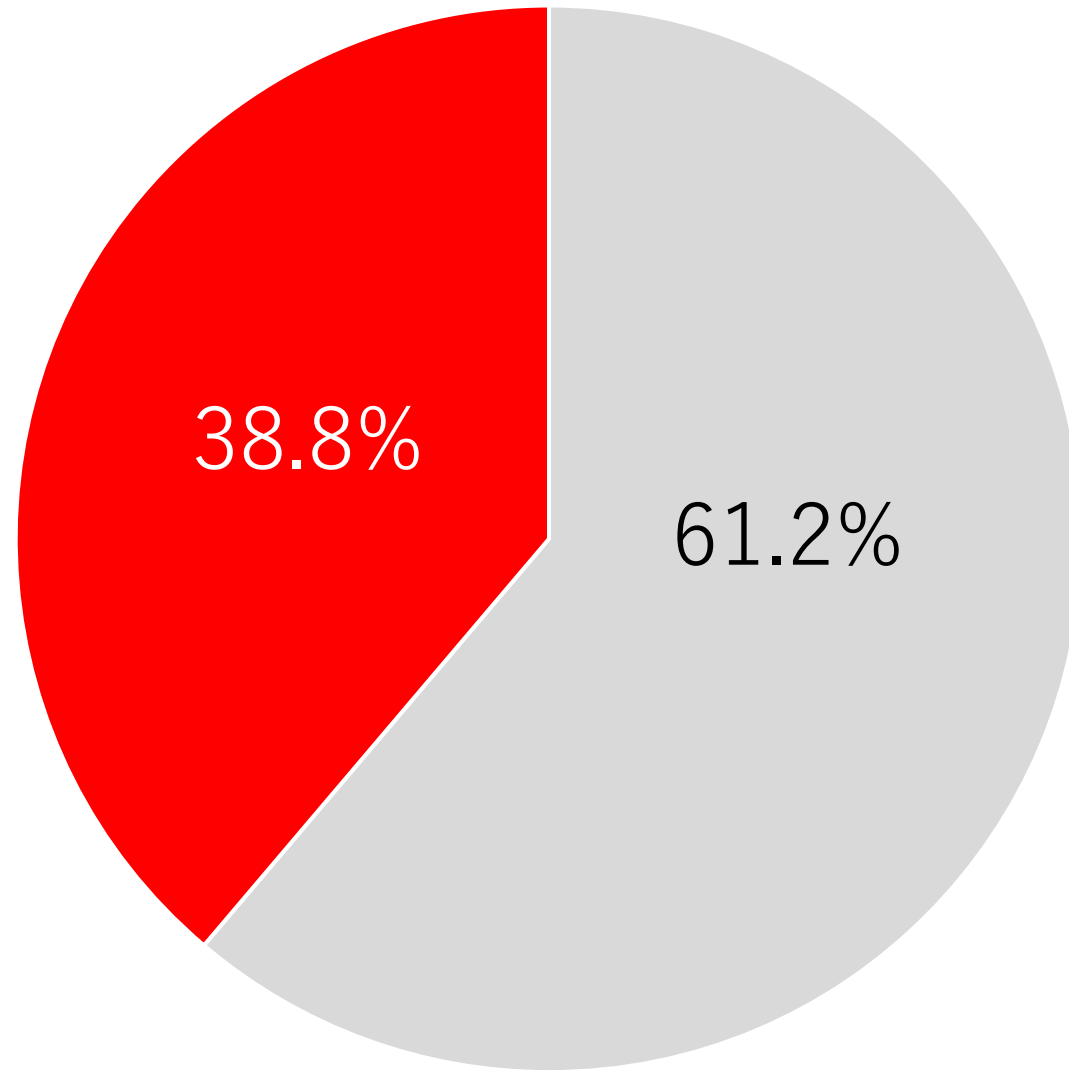
登校できたとしても、フラッシュバックが起きるなど、クラスで過ごすことができないため、登校できた時は、支援級で過ごしています。

「友達のこと」

現在、生活保護を受けています。

小学校5年生の娘が発達障がいグレーゾーンに近い数値で、毎朝起きることができず、週のうちほとんどを登校できない状態です。5年生ですがまだかけ算も微妙な感じで、学習からかなり遅れています。

不登校—生活困窮・障害



3人に1人が専門的な支援を受けていない

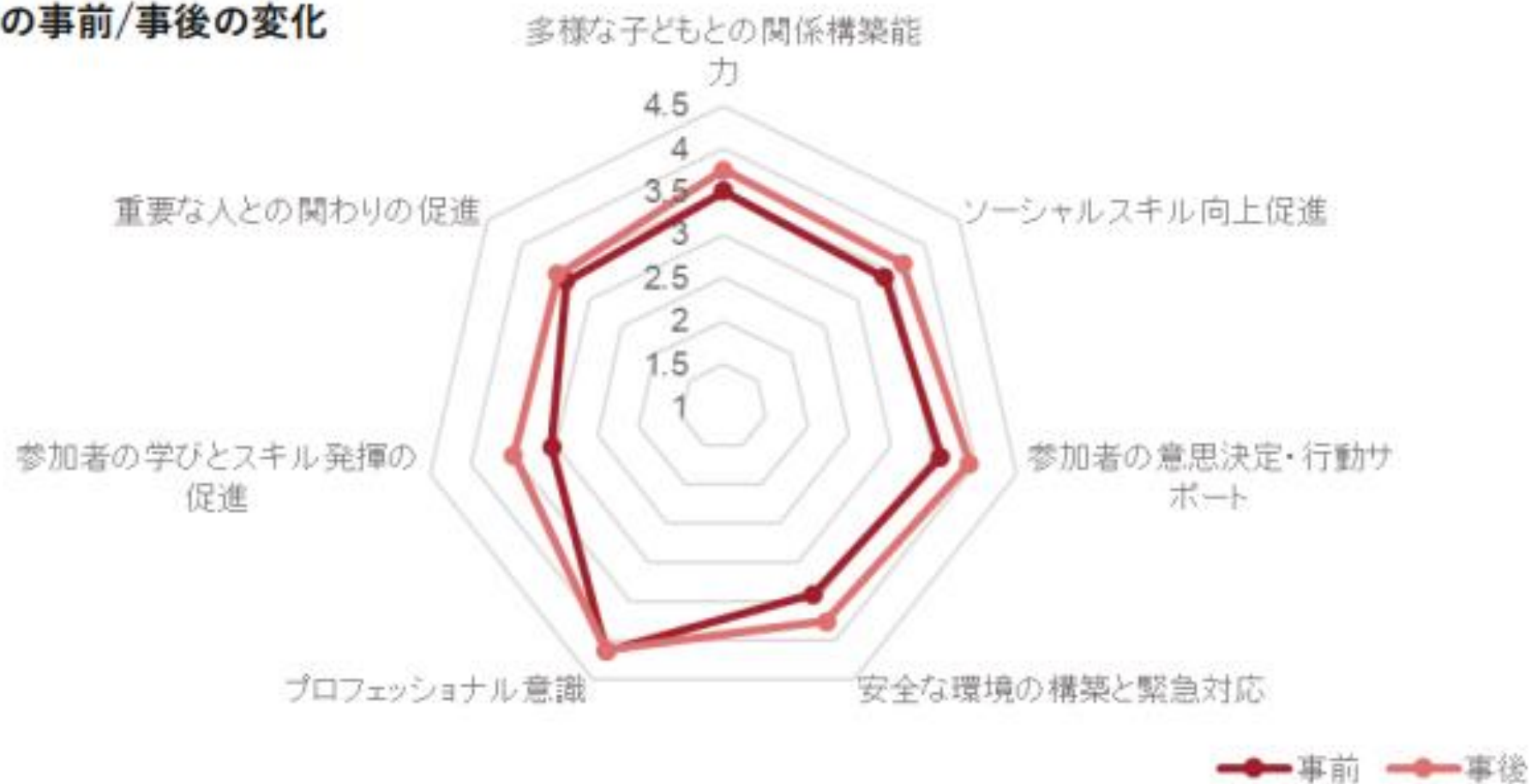
A photograph of two women sitting at a table in what appears to be a meeting or training session. The woman on the left is wearing a black top and is looking towards the right with a slight smile. The woman on the right is wearing a light-colored top and is looking towards the left, with her hand raised as if speaking or gesturing. The background is slightly blurred, showing other people and a bright light source.

学校に行けない・行かない選択を
支えるために。

eDojo (イー道場) は、NPO法人eboardが開発する、
不登校の子と関わる教育・学習支援現場のスタッフの方を対象とした研修プログラムです。

eboardへの寄付・ボランティアで実現した取り組み例②
不登校・子ども支援人材向け研修プログラム

■中間アウトカム指標の事前/事後の変化



社会的インパクト評価により成果を確認

長野県「信州型フリースクール
認証制度」創設に伴う
研修プログラムの提供を開始

学びをあきらめない社会へ



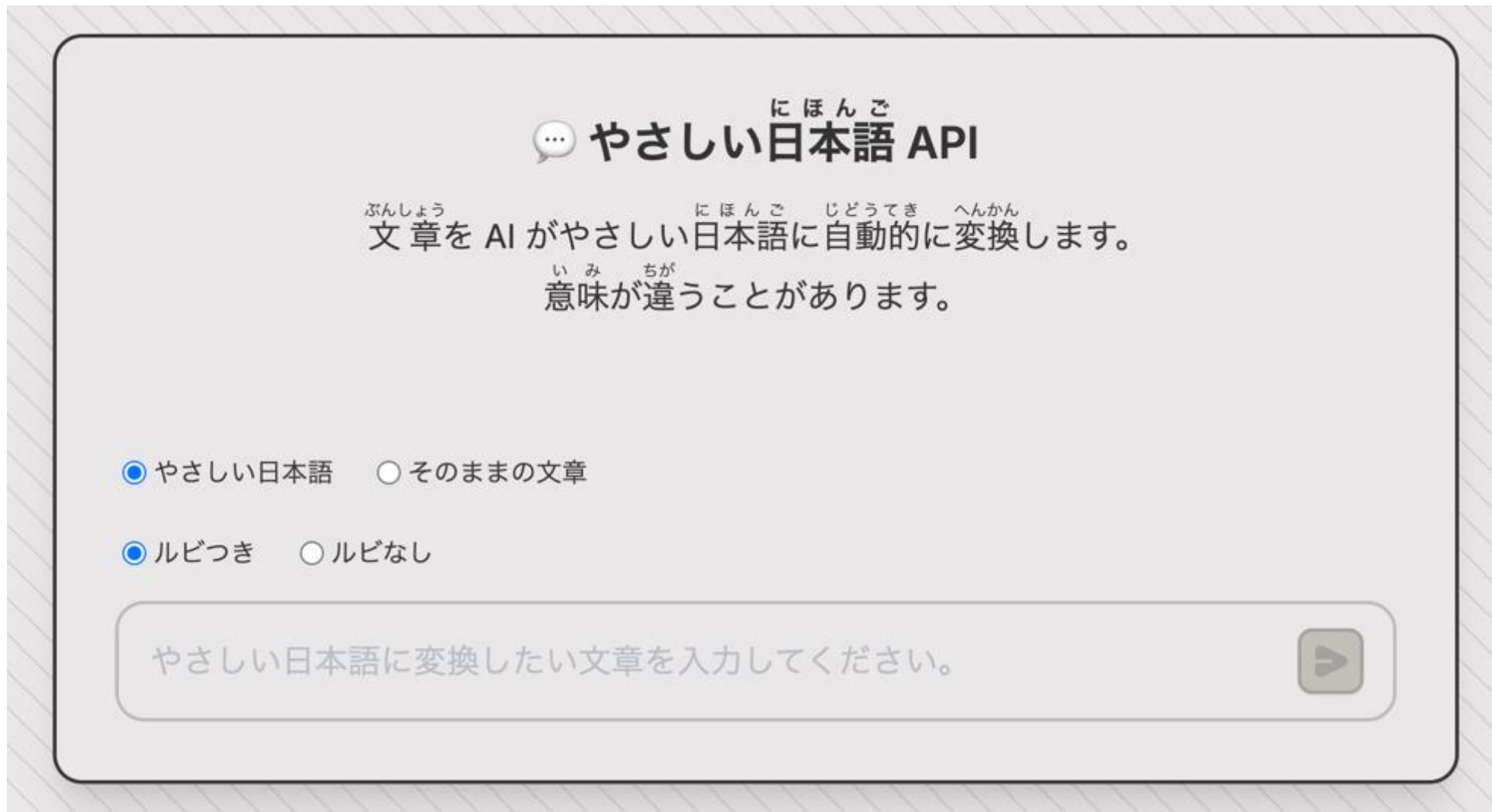
全国初の「認証制度」で研修を受託



日本で唯一 字幕がついた映像教材

でも、それって

生成AIでできんじゃない？



eboardへの寄付・ボランティアで実現した取り組み例③

「やさしい日本語」化ツールの開発

マイケル・ジョーダンがアディダスと契約したかった！？

「エア ジョーダン 1」は「バスケットボールの神様」ことマイケル・ジョーダンのシグネチャーシューズとして1985年に登場した。現在「エア ジョーダン」は37作までシリーズ化され、まさに伝説のシューズとしてスニーカー界に君臨している。

ナイキとしても、「ダンク」とともにバスケットボールシーンにおいて確固たる地位を築くことになるモデルだが、ナイキがなぜマイケル・ジョーダンに目を付けたのか、そしてどのようにして契約に至ったのかなどの舞台裏は謎に包まれたままだ。

白×赤を基調とした通称「シカゴ」、初期の「エア ジョーダン 1」としてはかなり有名なカラーリングだが、この配色もナイキの血肉の塊だった。

今回、その契約の舞台裏を、「エア ジョーダン」シリーズに詳しい鎌本さんに何うとこう答えてくれた。

「大学時代のマイケル・ジョーダンは『コンバース』の『プロスター』『ヤファストブレイク』というモデルを履いていたそうです。

大学時代に華々しい活躍をしたマイケル・ジョーダンに目を付けた「ナイキ」はNBAでもスーパースターになると見込み、契約を持ちかけたそうですが、彼は元々「アディダス」と契約がしたくて「ナイキ」との契約には消極的だったと聞いています。

本人が乗り気でないことで契約は困難を極めた。ただ、「ナイキ」は彼のシグネチャーシューズを作ること約束。そして破格の契約金を積み、見事に契約を勝ち取ったのだ。



白×赤を基調とした通称「シカゴ」、初期の「エア ジョーダン 1」としてはかなり有名なカラーリングだが、この配色もナイキの血肉の塊だった。

マイケル・ジョーダンはアディダスと契約したかった！？ 「エア ジョーダン 1」は「バスケットボールの神様」ことマイケル・ジョーダンの特別な靴として1985年に登場しました。今、「エア ジョーダン」は37作まで続いて、伝説の靴として有名です。ナイキにとっても、「ダンク」と一緒にバスケットボールの世界で大事な靴になりました。でも、ナイキがどうしてマイケル・ジョーダンに注目したのか、そしてどうやって契約したのかは謎のままです。白と赤の色を使った「シカゴ」という名前の靴も有名です。この色もナイキが考えたものです。今回、その契約の話も、「エアジョーダン」シリーズに詳しい鎌本さんに聞きました。「大学の時代、マイケル・ジョーダンは『コンバース』の靴を履いていました。大学で活躍したマイケル・ジョーダンに注目した「ナイキ」は、NBAでも活躍すると思って契約を提案しました。でも、マイケル・ジョーダンは元々「アディダス」と契約したかったので、「ナイキ」との契約には乗り気ではなかったそうです。マイケル・ジョーダンが乗り気ではなかったので、契約は難しかったです。でも、「ナイキ」はマイケル・ジョーダンの特別な靴を作ること約束し、大きな契約金を提案して、契約を勝ち取りました。

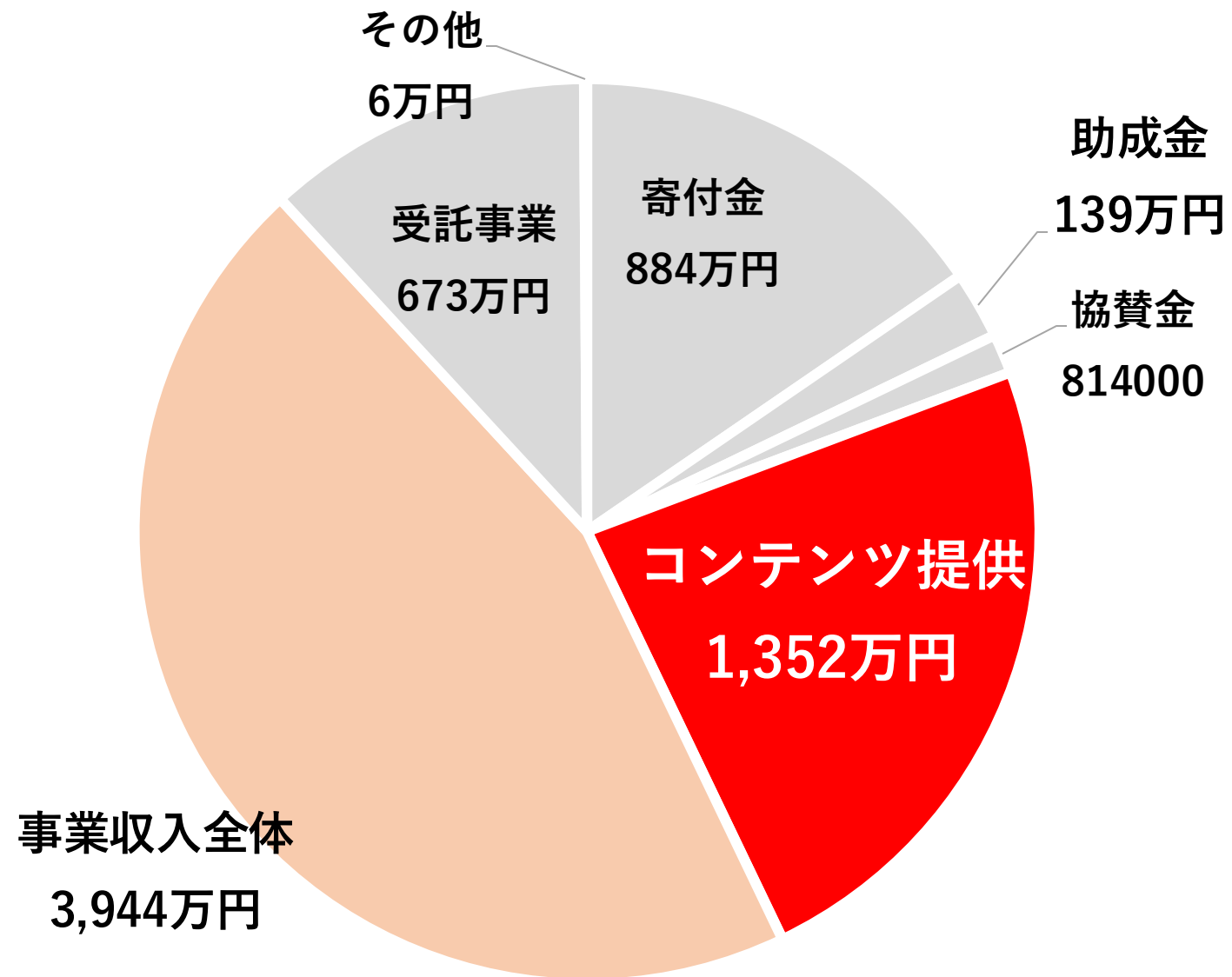
自分で文章を読み解く助けに



お願い① 社会貢献部門におつなぎください！

それはちよつと難しい…

という方は



事業収入の1/3は「コンテンツ提供」

2015年8月27日

Classi 株式会社

代表取締役社長 山崎昌樹

クラッシー
ソフトバンクグループとベネッセの合併会社**Classi**、
学習支援クラウドサービス「**Classi**」で
10,000 本以上の動画コンテンツを提供開始
～学校の授業や自宅学習を活性化する豊富なコンテンツ～

ソフトバンクグループ株式会社(本社:東京都港区)と株式会社ベネッセホールディングス(本社:岡山市北区)の合併会社 **Classi**(クラッシー)株式会社(本社:東京都新宿区)は、同社が提供する学習支援クラウドサービスに **10,000** 本以上の動画コンテンツを提供します。この新しい「教材動画」コンテンツは、**2015年9月上旬**からの提供を予定しています。

学校現場で利用できる学習支援クラウドサービス「**Classi**」では、生徒が主にスマートフォンやタブレットでコン



誰もが自分らしく学べる社会へ 教育DX



後で見る

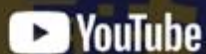


共有

教育DX



見る



誰もが自分らしく学べる社会へ

実証事業



「学びをあきらめない社会」の
実現を目指して

ICT教材eboardの開発・運営



NPO法人eboard
代表理事

中村孝一氏

NPO法人eboard（以下、eboard）は「学びをあきらめない社会」というミッションの実現に向けて活動す

社会貢献 × 広報

NPOのリソースは

あまりに小さい

ビジネスにおける協働は
課題解決に欠かせないアクション

“企業が自社のパーパスに合ったNPOを応援して
新しいコミュニティーをつくり、みんなが生き生きと
挑戦できる社会を、経済同友会は目指す。”

新浪剛史・経済同友会代表幹事



お願い② 一緒に事業をつくりましょう！

NPO法人eboard 公式スポンサープログラムのご提案

NPO法人eboardの活動を「公式スポンサープログラム」として、応援してください。

スポンサー（協賛）となるため、御社やサービス等の広報活動をお手伝いさせていただきます。

※ 本プログラムは、広告宣伝費等での損金参入が可能なものとなります。

ご寄付（原則、損金参入不可）をご検討いただける場合は、お知らせください。

ご協賛金額（年額）	プラチナ 50万円 +取組に応じて	ゴールド 50万円/年	シルバー 30万円/年	ブロンズ 10万円/年
eboard年間活動報告書へのご掲載	<input type="checkbox"/> ゴ+社名	<input type="checkbox"/> ゴ+社名	<input type="checkbox"/> ゴ+社名	社名
eboard公式HP・企業ページへのご掲載	<input type="checkbox"/> ゴ+社名	<input type="checkbox"/> ゴ+社名	<input type="checkbox"/> ゴ+社名	社名
eboard公式HP・トップページへのご掲載	<input type="checkbox"/> ゴ+社名	<input type="checkbox"/> ゴ+社名		
ご協賛に関するプレスリリース配信	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
社内講演会・勉強会の開催	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
eboardオウンドメディアでの特別記事配信	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
個別のニーズに合わせた広報特典	<input type="checkbox"/>			

自分には何もできない…

と思ったあなた！

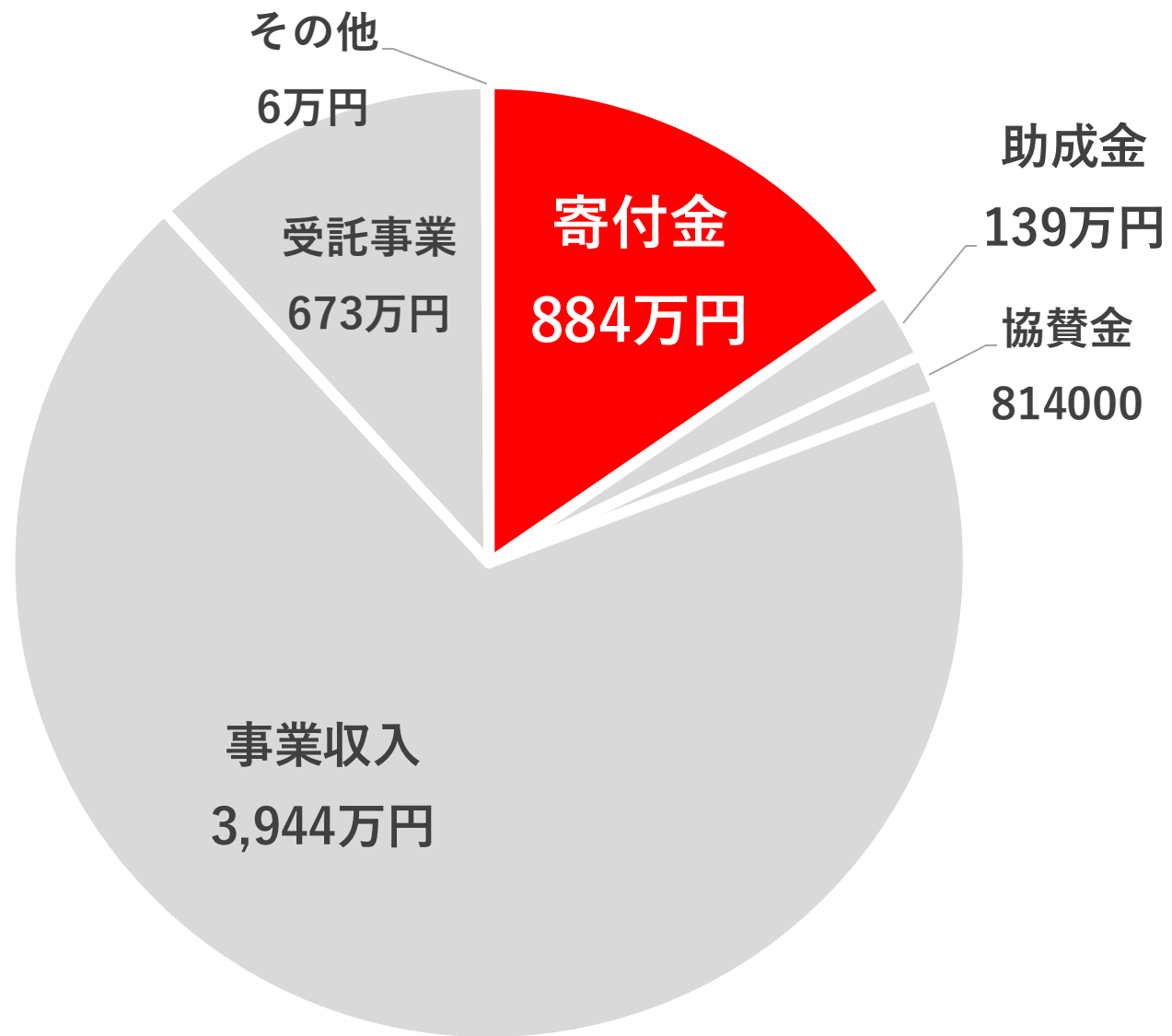


あなたも入れるプログラムがあるんです…！

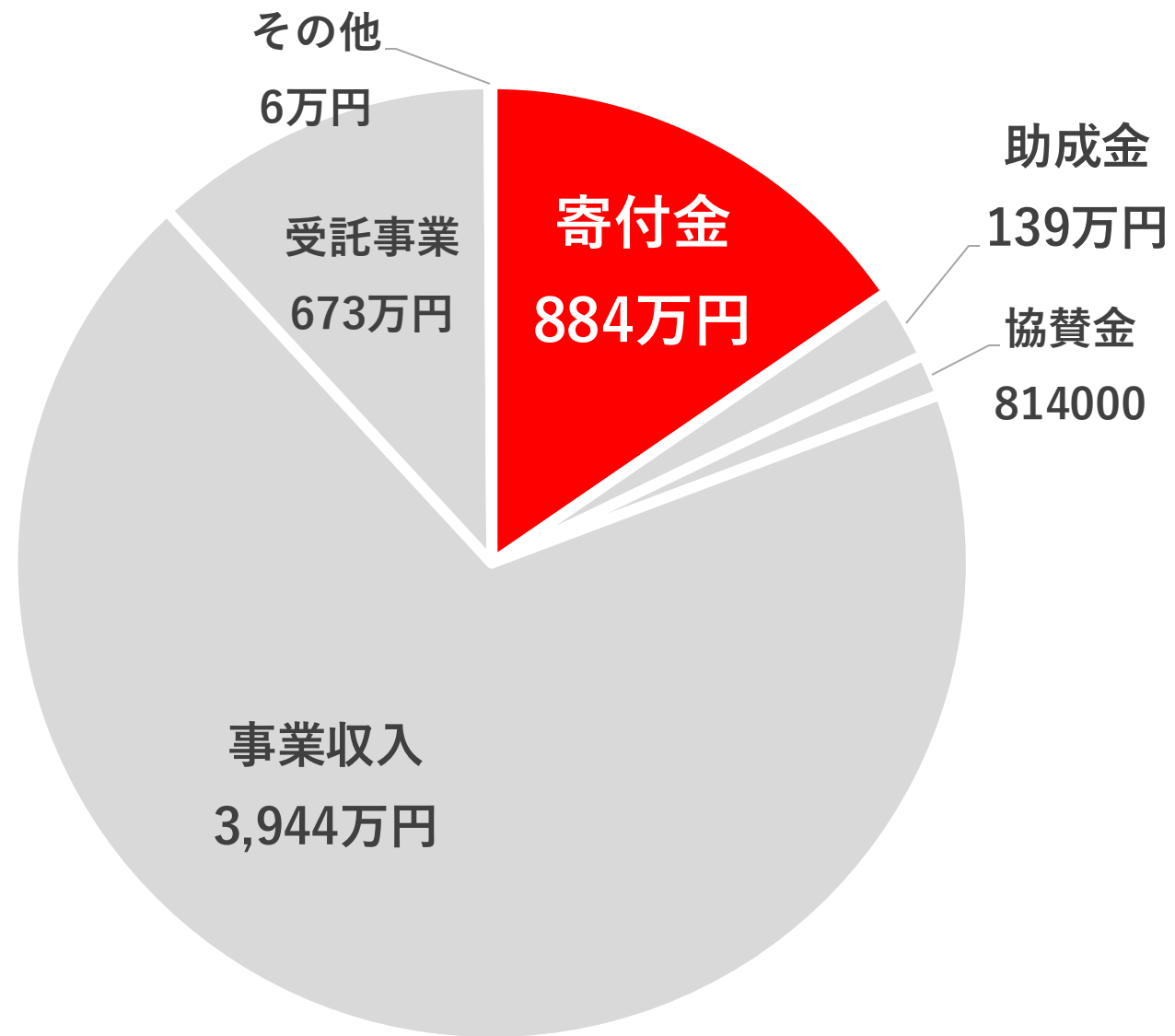
A young boy with dark hair is looking intently at a tablet device. The background is slightly blurred, showing what appears to be a classroom or office setting. The text is overlaid on the image in white.

どんな環境にあっても、
学びのチャンス届けたい

eboardのマンスリーサポーター



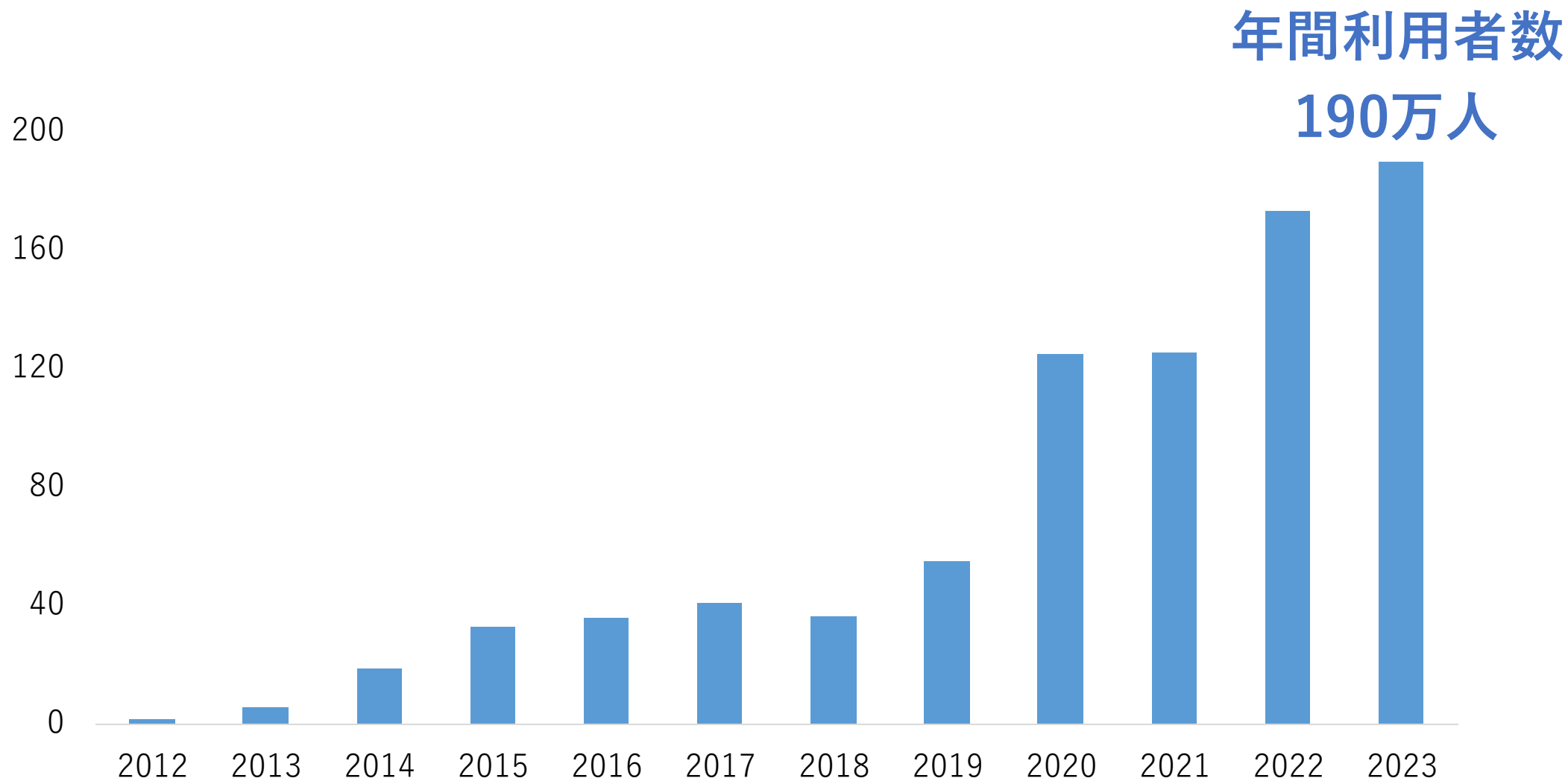
寄付は15%



「その15%」で eboardは「維持」されています



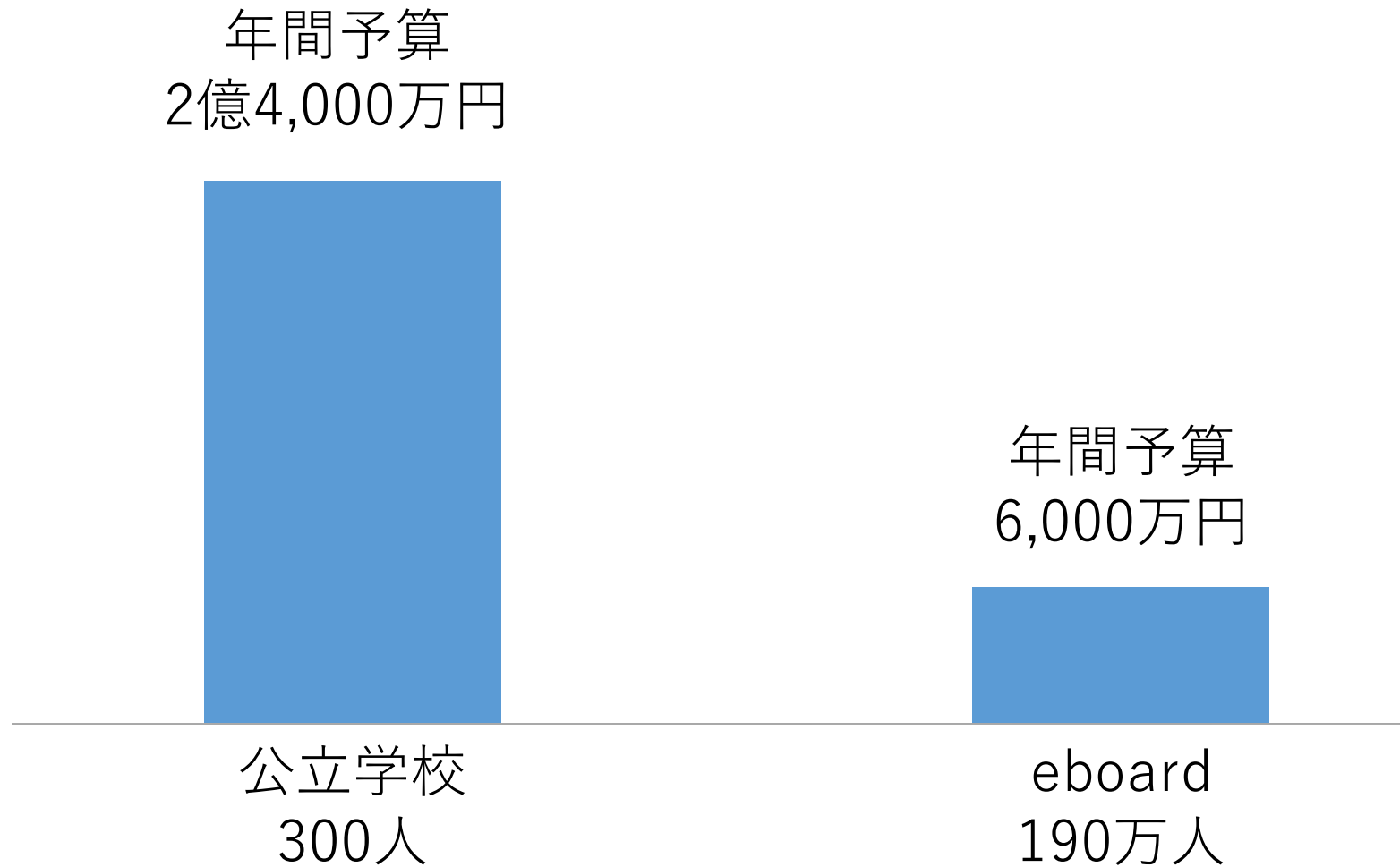
eboardに寄付してもらいたい3つの理由



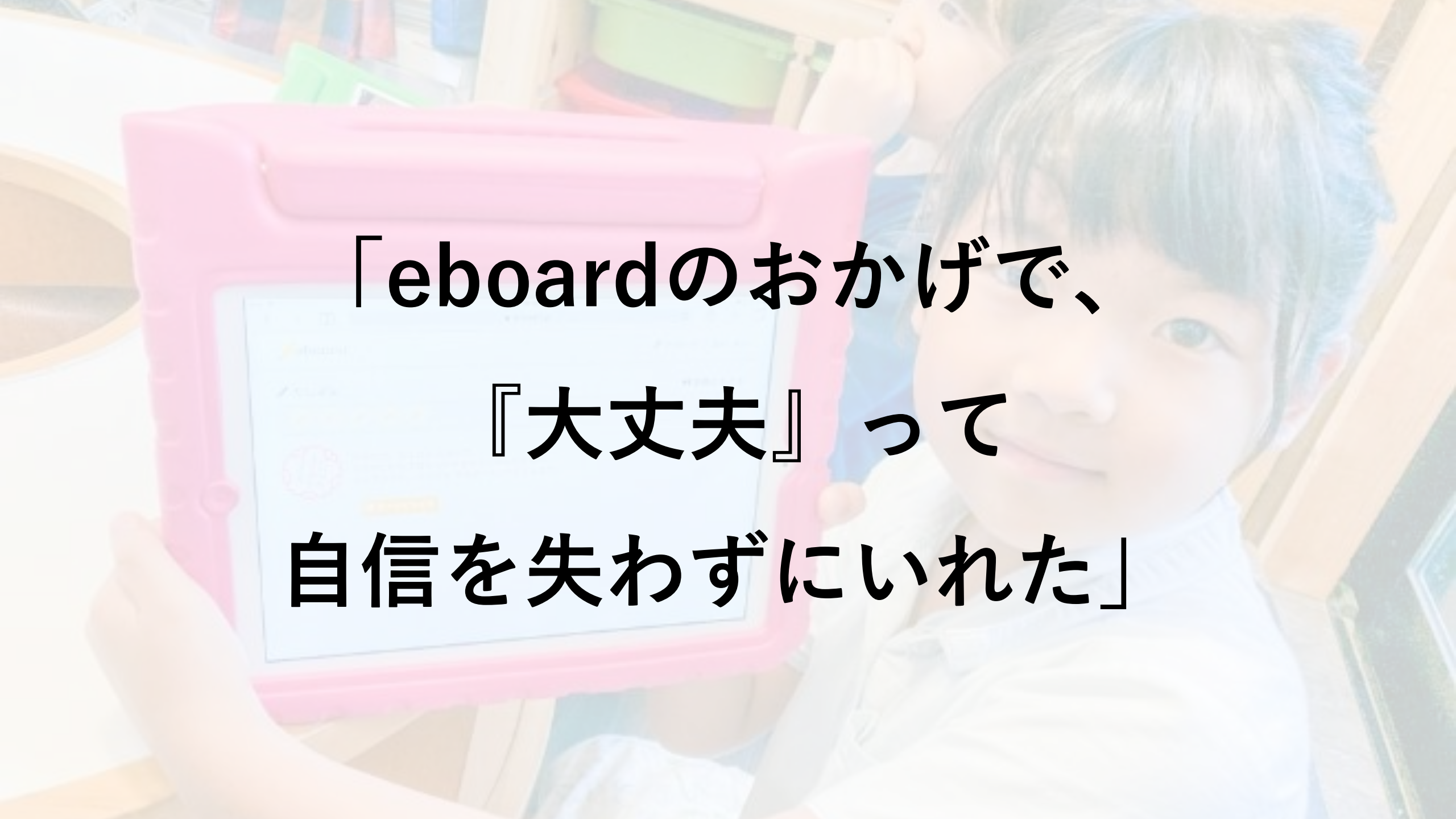
理由① 日本で1番多くの子どもの届く活動



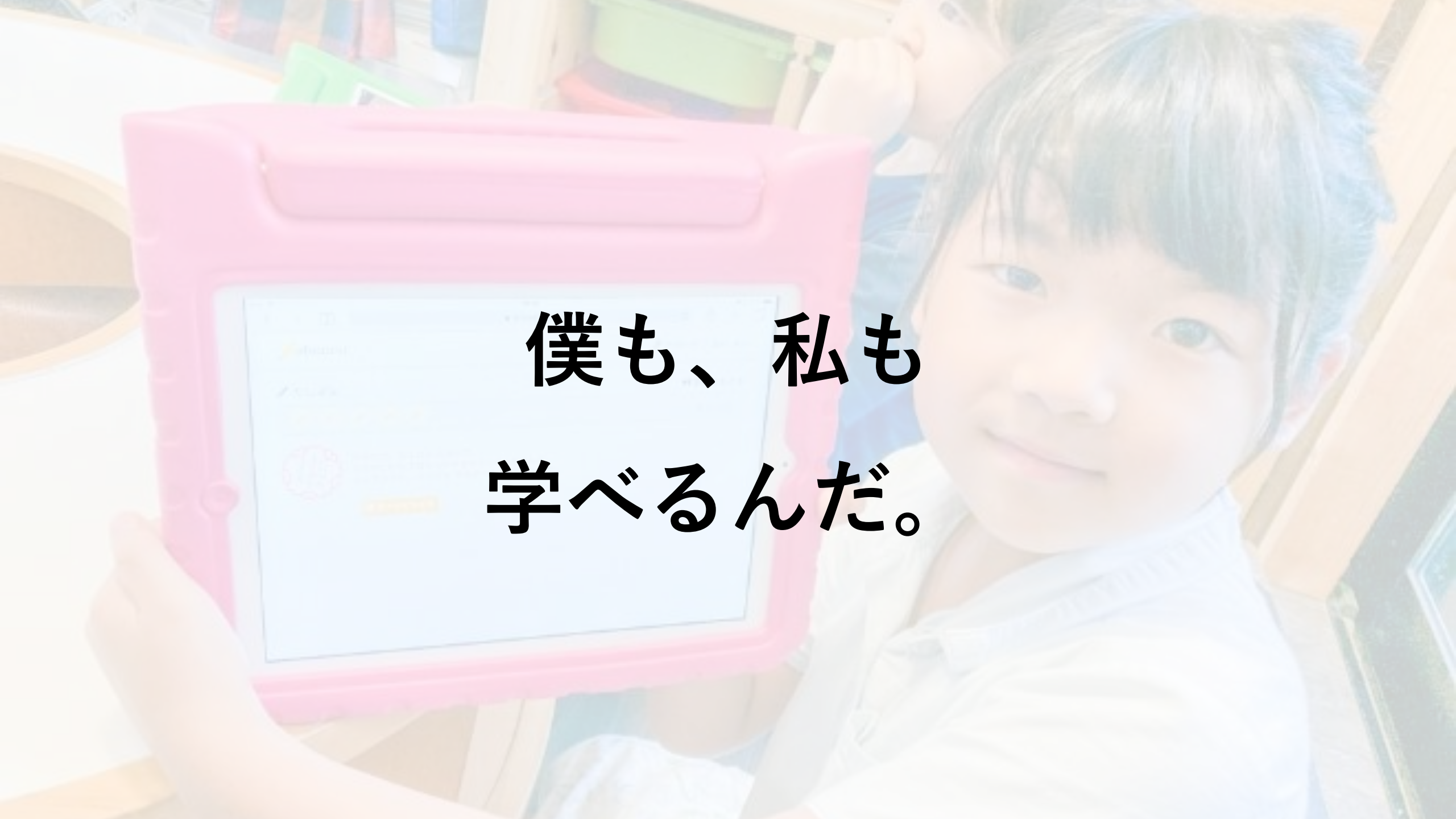
理由② 日本で唯一の無償のICT教材



理由③ 小さな応援が大きな力に

A young child with dark hair is sitting at a desk, holding a pink tablet. The tablet screen shows a Japanese interface with the word '大丈夫' (Daijoubu) visible. The child is looking towards the camera with a slight smile. The background is a classroom setting with shelves and books.

**「eboardのおかげで、
『大丈夫』って
自信を失わずにいられた」**

A young child with dark hair and bangs is sitting at a desk, holding a tablet with a pink protective case. The tablet screen shows a Japanese website with a search bar and a circular logo. The child is looking towards the camera with a slight smile. The background is slightly blurred, showing a desk with various items and a wooden chair.

**僕も、私も
学べるんだ。**



学びをあきらめない社会



お願い③ 個人寄付で応援してください！

ご寄付

お問い合わせ

イーボード 寄付

検索



<https://info.eboard.jp/donation>

support@eboard.jp

いつも応援ありがとうございます！